



まちぐわーの安心と安全を考える 地域円卓会議

新業態の出店がつづくまちぐわーエリア、
旧来からの店舗や地域住民ともハッピーに共生できる自治のあり方を考える

実施報告書

日 時： 2025 年 1 月 20 日（月）18:00-20:50（受付開始 17:30-）
場 所： てんぶす那覇 4 階 テンブスホール（沖縄県那覇市牧志 3-2-10）
主 催： 那覇市議会議員 外間ゆり
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄・NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議



- 日 時：2025年1月20日（月）18:00-20:50
- 場 所：てんぶす那覇4階 テンブスホール
- 着席者数：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 参加者数：38名（企業、自治会等地域組織、地域住民等）

- 主 催：那覇市議会議員 外間ゆり
- 協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄
NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供

外間 有里（那覇市議会議員・外間製菓所3代目代表）

新業態の出店がつづくまちぐわーエリア、 旧来からの店舗や地域住民ともハッピーに共生できる自治のあり方を考える

コロナ禍明け、いよいよ人流が戻って来る中、国際通りを含むまちぐわーエリアでは、飲食店をはじめとした、様々な業態が開業ラッシュを迎えています。その中には、これまでになかったタイプの店舗があり、地域の治安に不安感を与えるような業態も一部見受けられるようになりました。また、まちぐわーエリアの代替わりの中、まちづくりのプレイヤーとしてかつて機能してきた通り会活動、自治組織の活動の疲弊もあり、その不安に対する対応が難しくなっていることもあるのかもしれませんが。今回の円卓会議では、まちぐわーエリアで起こっていることを確認しながら、子どもやお年寄りやあらゆる来街者も快適に過ごせる中心市街地の新たなルールやモラルづくりや自治のあり方に関してみんなで議論したいところです。

センターメンバー



外間 有里
那覇市議会議員・
外間製菓所
3代目代表



矢野 弘子
牧志3丁目自治会
会長



津覇 綾子
津覇商店
店主



古謝 玄太
那覇市副市長



新 雅史
流通科学大学
商学部 准教授



城間 陽介
沖縄タイムス
社会部 記者

まちぐわーの 安心と安全を考える 地域円卓会議

地域の「困りごと」と社会課題を、共有・共感する

新業態の出店がつづく

まちぐわーエリア、旧来からの

店舗や地域住民とも

ハッピーに共生できる

自治のあり方を考える。

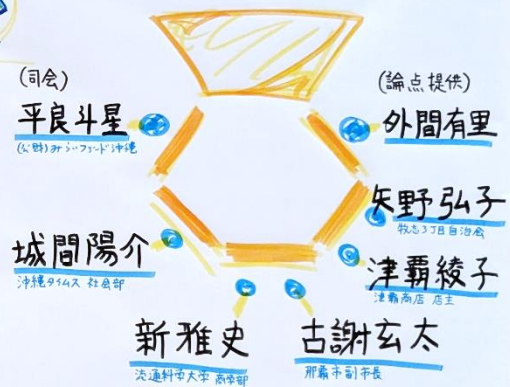
主催 那覇市議会議員 外間ゆり

協力 公益財団法人 みらいフーズ沖縄, NPO法人 まちなか研究所 ゆくわく

2025. 1. 20 (月)

18:00 ~ 20:50

④ てんぷす那覇 4F テンブスホール



論点提供

外間有里 さん

外間製菓所 3代目代表
那覇市議会議員

那覇市の中心商店街

- ✓ 都市計画・経済活動
- ✓ 地域住民と観光客と結ぶ交流拠点
- ✓ 商店街の将来像
- ✓ 商業・文化・観光
- ✓ なはまち振興課 → 商店街支援
地域経済の底上げ

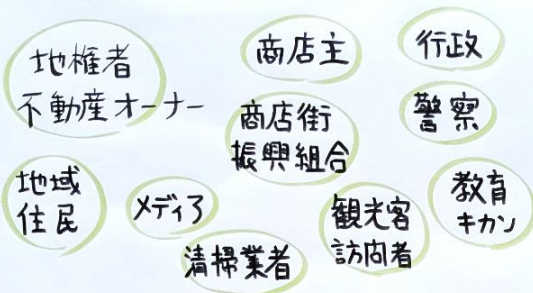
那覇市計画

中心市街地の活性化に関する基本計画
那覇市都市計画マスタープラン

事業

課題

- ✓ アーケードの再整備
- ✓ はみ出し、路上飲み
- ✓ トイレ不足
- ✓ 歩行者専用道路に違法通行、駐車
- ✓ 不法投棄、すーじ道での喫煙 (火災)
- ✓ 深夜営業の増加 (飲食店)
- ✓ 酔客による騒音・環境悪化 (はなれたり)
- ✓ 通り会・理事・事務局の担い手不足
- ✓ 市民がまちぐわーへ行く回数
「全く行かない」 40.2%
コロナ前より 11.2% 増加



ルールあるけど知られていない



矢野弘子 さん

③

牧志3丁目自治会 会長

経営→振興組合→自治会

2023.10月 発足

平和通り→ごみ問題

住人のことわかってなかった
こんな人な人が
住んでいるんだ...

井戸「牧志ヌカー」
修復中

掲示板の設置

自治会員と牧志屋台村の皆々との清掃活動

騒音 → センバロ・酔客の笑い声
どうない・外へテアール出た

人が住んでいることわかっていない

言っても、しばらくするとうるさくなる

かし主・大家は、住んでいないことタビ

昔、桜坂のはんか街あった

でも住みわけができていた。親・PTAの役割

朝は、通学路にもなっている



津覇綾子 さん

食器店

コロナ禍 → オンラインストア
マタグラー

立ちション... 娘とかちあったことも
はく人

朝、げんきする...

お店へ直接 言ったり

またお客のモラル 大きい...

↑ 言っても... トイレあるところでもおきてる
ハメはずすために のみにくる人も

飲食店 → 増えている
あけば 飲食店になる
カラオケ入って、警察
不動産屋は説明している?

昼と夜 家主が気にしなくなっている



古謝玄太 さん

④

那覇市副市長
← 2年前

✓ マタグラー → にぎわいの中心地

✓ 他県にくらべたら、にぎわっている

✓ R4 → プロジェクトチームたちあげ

ルール化 / かす側のモラル

基本的に民間活動ベース。の中で

行政がどこまで関わるのか。

トイレ補助 (市)

経済活動に対し、キセイのアプローチは
なかなかムズかしい

路上はみ出し → 飲食店だけではない

セガワ

✓ 都市再整備計画

✓ 通り会加入し、ルール守る
ことでクリアできるかも

✓ 自治の権限イジろう

新雅史 さん

2012 → 「なぜ商店街はほろびるのか」

市場中央通りわ13-ケード 再整備

2018 ~ 2024 年

これまで店主たちの自治でやってきた

ルール解釈 一内地の事例(前例)

自主的ルールづくり

↑ 行政が追認する、という方法

商売やっている人が守れるルールづくり

↓ 行政だけでつくっても...ムズかしいのでは、

協力して治める → 「協治」が大事では、

地権者がみえなくなっている、

↓
地元にはないケース
連絡とれないケース

10年放置したら、よりすむ
連絡とれる、協力的な地権者しか
空店ポ子側 → 予防(5年後)

城間陽介 さん

沖縄タイムス 社会部

2022 子どもたち通れない

週末、深夜2時、カウオバー
ハンキョウする声

飲食店200店ポ → ルールづくりむずかしい
必要性は認識しているが、

家賃の安さ

くもじりかせげる

通り会、住民、飲食店の意見

↳ 議論平行線

いっしょに何かをやるキカイ必要では、

若手オーナー達による対策・清掃活動

その中でも新しい店よえる...

サブセッション

火災

20年前あった
またあっておかしくない

話しあいの場が
これからは必要

防災の
とりにくみある

国際通りも
含め
で考える...

根本原因 ↓

人間関係のキハク

↓
ルールつくっても
守られな...のでは、

共同作業をよやす、

商店街のルール

ひとりひとりの意見を
こーいしながら
共通点をみだしていく
ホニ者セ...していく

時間かけて、
地元でルールをつくる
たっへんだけで、

新しい人にも
伝えていく、
市があとおしする

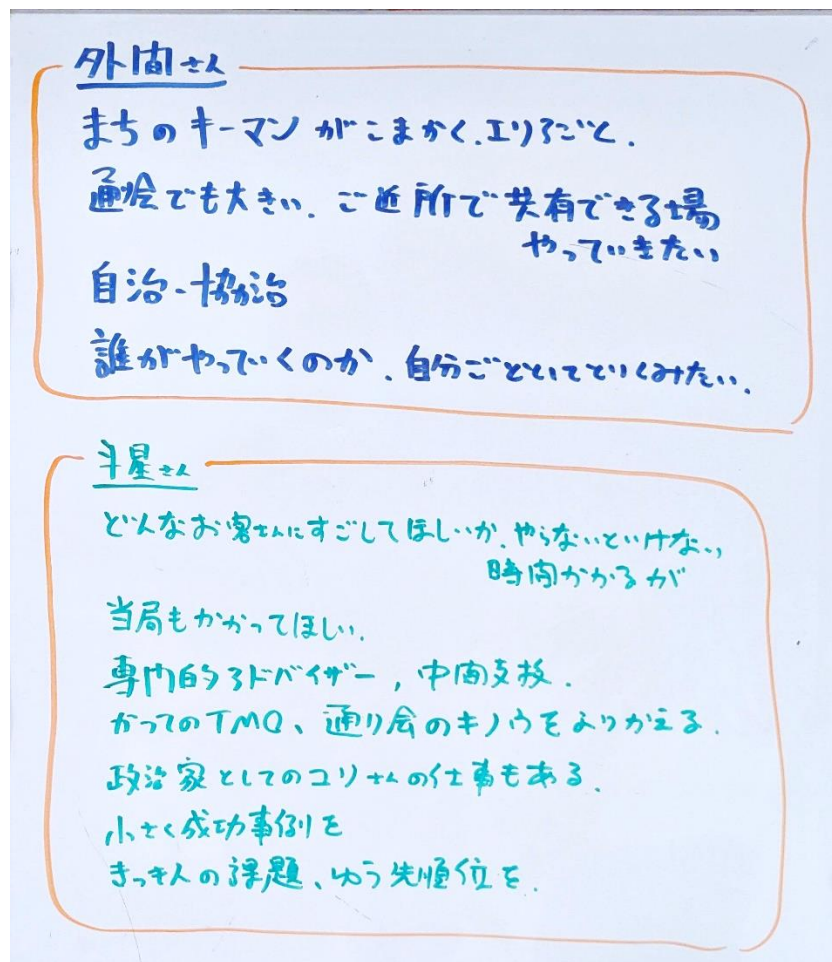
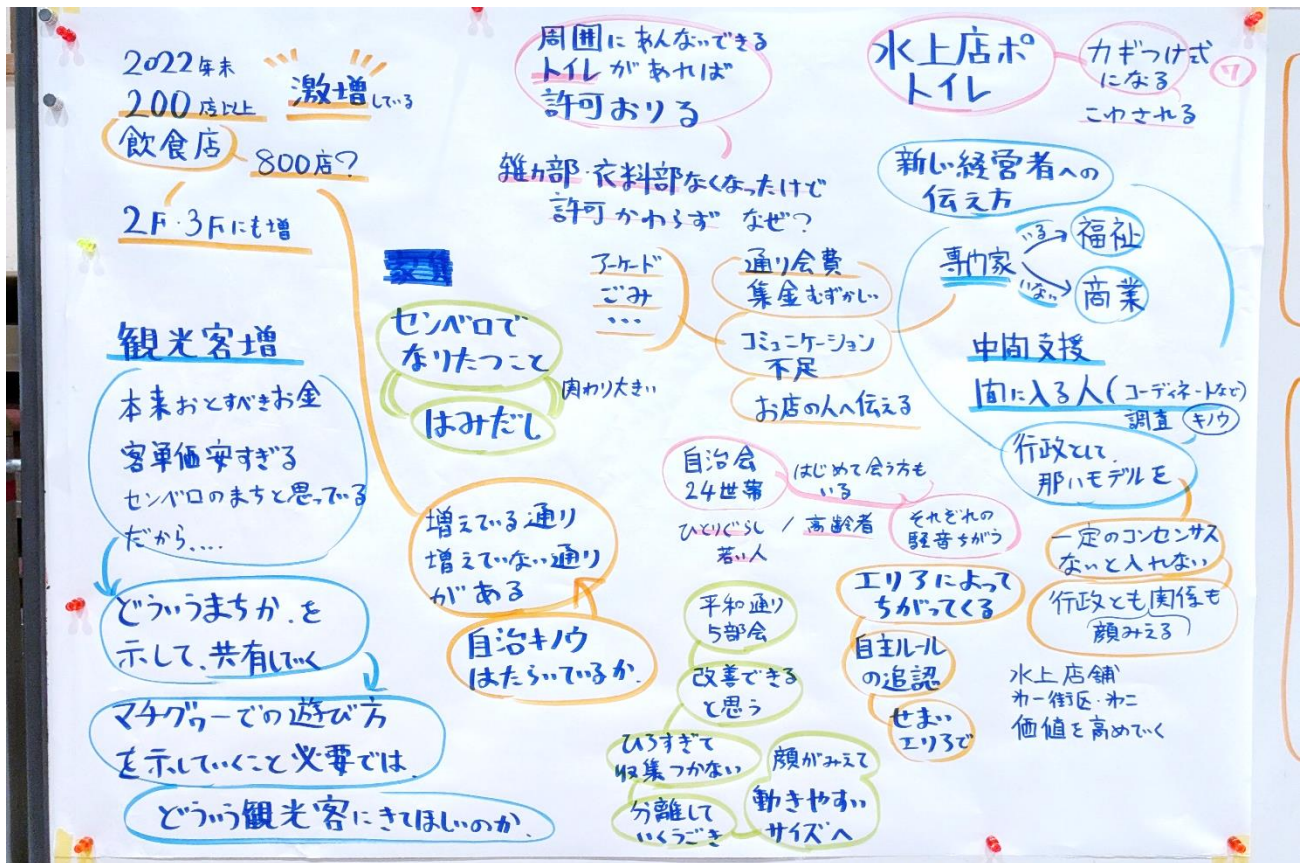
近くに住んで
いるけど、
わからなかった
高校生

困りのない人
も自分でとして

トイレ

8年前から問題
対策をひてつ
ひてつやていく

自治会のような
キセウではなく
住民のかまひきだす
かかホリ方(行政)



■今後のアプローチの方向性

- 1) **情報共有と意見交換できる場づくり**: 通り会より細かいエリアでキーマンを特定し、キーマン同士が情報共有できる場を整備することが求められます。そのような情報共有の場に加えて、観光客を含めた来街者、商店主、住人、行政等の様々な関係者が、今後、まちぐわーがどうありたいかというビジョンづくりの議論を重ねる必要があります。
- 2) **過去の経験を活かした施策の実行**: 過去のまちぐわーでの取り組みを分析し、反省点を踏まえたうえで、時代に合ったアイデアとチャレンジが必要です。通り会の機能や那覇市の施策など、今あるリソースを見直しながら、喫緊の課題への優先順位をつけ、小さな成功事例を重ねていくことが求められます。その際、専門性を持ったアドバイザーや中間支援団体を効果的に活用し、関係者の思いを形にしていくことが重要です。
- 3) **来街者への情報発信**: 様々な関係者の議論をもとに、まちぐわー全体で共通の将来像を共有し、来街者へメッセージを出す必要があります。情報発信することで、来てほしい客層へ呼びかけ、まちぐわーの過ごし方を提案することができます。

■参加者によるサブセッション

新業態の出店がつづくまちぐわーエリア、 旧来からの店舗や地域住民ともハッピーに共生できる自治のあり方を考える

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・ 昔は、ポイントとなる人等が居たから問題が少なかった
- ・ 小売業として営業がむずかしくなった
- ・ 街の未来予測をしながらやるのが良い

②

- ・ 課題があることを初めて知った
いろいろな人たちがいる
コミュニケーション大事
- ・ 飲食増は OK
ルールづくり必要
時間かけてでも
住宅もアリ
- ・ 地元でルールをつくる
市の HP にもものっている
市が後押しする
渡名喜でもルール
教科書づくり
- ・ プロジェクトチーム改善の余地

③

- ・ 住みわけできてる ルール
- ・ 平良さんの役目が、商店街のルールをまとめる秘訣になりそう
- ・ 那覇住みで知らなかった被害もある
- ・ 掃除
- ・ どうやったら顔が見える 自分事化
- ・ 商店街独自のルールを作る時に司会進行してくれた平良さんの様な 1 人 1 人の意見を肯定してくれる役割が必要なのではないのか？ (まとまる！！)

④

- ・ 課題：騒音、家賃高騰
- ・ そのもののルールが不明

⑤

- ・ 火事やアーケード老朽化への不安
- ・ ゴミのポイ捨て等による出火の不安
- ・ 治安悪化 (酔客、喫煙、など…)
→出店者の意識の共有ができる方法はないだろうか？
→住民の感じている不安を行政や警察などに届くようなルートや窓口を作れないか？
→商店街や自治会の活動の見える化で住民の安心につなげられる？

⑥

- ・ 現象
- ・ 様々な課題の解決の目線ではなく根本原因を解決した方がいい
→市場の形態が変わっている
→人間関係が希薄
⇒ルールが増える
栄町は人間関係が良いのでトラブルが少ない
→共同作業も少ない
店舗間の良好な関係性があるから、共同作業が発生する

⑦

- ・ このまちはどうなりたいのか？
- ・ 戦略が必要か

⑧

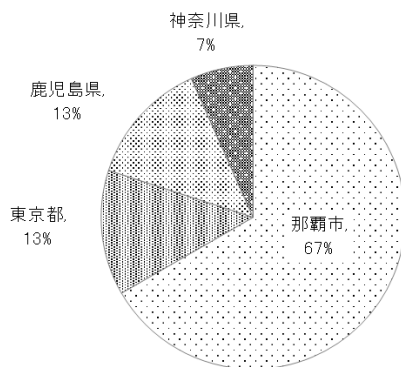
- ・ 外国人（観光客）
- ・ 栄町の朝ごはん
- ・ 地権者不在 資料
- ・ オーナー不在（やとわれ店長）
- ・ 千ペロ
- ・ 昼飲み
- ・ 酒税
- ・ 保健所

まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

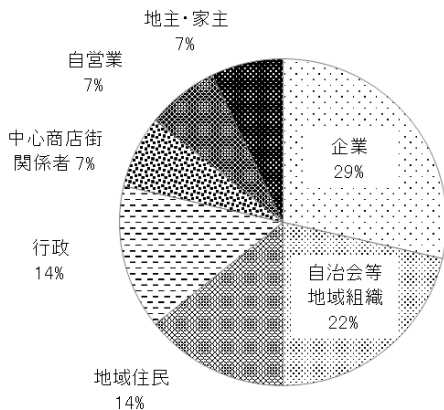
◆概要

- ・ 日時：2025 年 1 月 20 日（月）18:00 - 20:50
- ・ 場所：てんぶす那覇 4 階 テンブスホール
- ・ 着席者：8 名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・ 参加者：38 名（企業、自治会等地域組織、行政等）
（アンケート回収 15 名、回収率 39%）

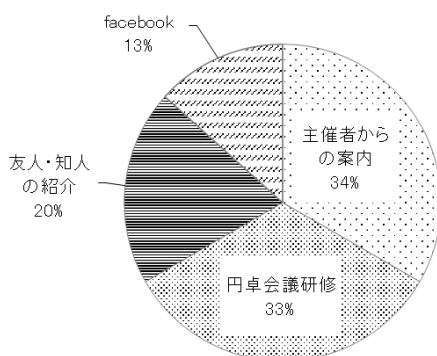
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.7（5 点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
11 名	4 名	0 名	0 名	0 名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・ まちぐわーの現状について知らないことばかりであった。目からウロコが落ちた。
- ・ 地域住民の円卓会議と思っていたが、行政、地域とも言えない、おもしろい形の会議でした。
- ・ 円卓会議という単語は知っていましたが、初めて実際の様子を体験させて頂きました。多種多様な方が参加されていることに驚きました。
- ・ みなさんの意見を聴きつつ、相手からの情報を引き出しまとめていて、他県からの参加ではあったが、置いていかれることがなかった。
- ・ 各々の課題や小さな取組を共有し、出し合うことで、新たな取組が生まれるとともに、みんなでがんばれる気がしてきた。
- ・ 想像以上にレベルの高い会議でした。ありがとうございました。
- ・ 新先生の話がとても勉強になりました。その他みなさんのご意見も聞けて良かったです。
- ・ とても有意義な時間でした！栄町市場でまず取り組みたい一歩が見えました！斗星さんの進行が本当に聞きやすく最高でしたー！また参加したいです円卓会議！！
- ・ 具体的であり、とりくみも知れた。冲映通りにも理事会で共有したい。

- ・ 3時間という長い枠でも飽きずにきくことができた。パネラーの人も、いろんな属性の人だったので、多様な意見があった。
- ・ 様々な角度、視点からまちぐわーを再認識しつつ、課題、事例、取り組みを体感することができました。良い再会とご縁もあり、また参加、そして、まちぐわーにも参画させていただきたいと思います！

(4. 概ね満足)

- ・ 問題点の共有ができたことと解決のためにヒントが得られたこと。
- ・ 気長にやるしかないのかな。早くルールを作るかな。
- ・ もっと時間がほしかったです。

6. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ やはり情報共有が大切。商店街に住民がいる意識なかった。
- ・ 中間支援者の存在が必要とのご意見。
- ・ 新先生は、新しい考え方を持たせてくれました。
- ・ マインドマップに書きます！
- ・ 地域でルールをつくって、行政が追認、認めていく協議の形。
- ・ 自主ルールを行政が追認することで解決につなげる。
- ・ 自治でルールを追認してもらう話。本当に時間をかけてでもやっていく必要性を感じました。
- ・ どんなお客様に来てほしいのか。戦略をもつのが大切だとサブセッションで話されていた方が印象的だった。本当に大切だと思う。
- ・ この会議の手法自体がまず初めてで、とても勉強になりました。情報量が多く、まだ“そしゃく”できてないですが、帰り“はんすう”して、マインドマップをさわってみます！序盤ですがガバナンス→協治も印象にのこりました。

- ・ 地域のブランディング。まちぐわーらしさって何？

ルール作り（自主ルールを作って行政で追認する）。

- ・ 大人数で話す事。
- ・ 早めに呼びかけをいかに出来るか？客単価の問題、観光客と住民の住み分けのむずかしさ。

以前は保健所のルールはキビシかったと思いますが、店側の都合でやり放題にやらさない方にもどせばいい。

- ・ 飲食店主も交えてガイドラインなりルールを決めることが大切かなと思いました。

(写真) 会場の様子



ポイントとなる人々が居たから
問題が少なくなった。
小売業として「営業」がむずかしくなった。
街の予測しなげにやるのが良い。
種

課題：駭音，客貨高騰。

・よくよくのルールが不明

④ 体役員
いりさんからの案内
課題があるところ初めて知った
いりさんにはうかがう。
コミュニケーション不足

住所OB.
 飲食増はOK
 ルールづくり必要
 時間カマてて
 住宅もアリ

地元ルールを学ぶ

市、HPI: もの7...
市、後17...
市、後17...

渡石亭 2012-12
敬利書つて

70174-6 22 1/2 30

火事やア-ケ-ド老朽化への不安

- ・J3のポイ捨て等による無出火の不審
- ・治安悪化(凶害、喫煙、など...)

→ 出店者の志趣の共有が主で
方法ではないですか？

→ 住民の懸念は不安で、
行政や警察などに届くように、
ルートや窓口を作らないか?

→ 市町村と自治会の活動の
見える化は住民の安心に
つながる?

現象

・ 様々な課題の解決の目的下、
はたして根本原因を解決した
方向"..."

→ 市場の形態は変わる
1130

→ 人由國係所希望

11-12 11" ± 管元子

栄町は人間関係が
良いのでトラブルが少な。

→ 共同作業も少ない。

店・間の良女子が関係
性があるから、共同作業
が榮生する。

秋田3日自給 栄町市場組合 高校同班.
外国人(親兄弟) 3年目. 20年回沙流 那. 中教の課
11-7. スパイス. 防災福祉.

李明利
李明利
李明利

4th [redacted] 1st [redacted]

このまうは
どうなりたいのか？

戦略が必要か

いまわけてある。14-14.

平良への役目。商店街のルールをまとめる
 村々に伝へる。
 高校生。たいまつを知の灯に。たそが
 える。(馬　　とうこ)
 ・どや、たの顔が見える、自分年代

商店街独自のルールを3時に司会進行していただく予定との
様に被審判が必要なのはいいか? ((まじなる!!!))
1人1人意見が定まっている

<Sharing Map の活用>

本会議では、マインドマップアプリ「Sharing Map」を活用し、会議終了後、テーマに関するご意見やアイデアを参加者に提案いただきました。

Sharing Map とは？

皆で問題解決に向けた情報共有やアイデア提案を行い、集合知をつくるためのアプリです。公開されたマインドマップに、誰でも自由に意見を書き込み、アイデアを共有することで、多様な視点を集め、より良い解決策を生み出すことを目指しています。

▽本テーマに関する「Sharing Map」(2025 年 2 月 17 日時点)



本報告書をお読みになった方は、どなたでも、「Sharing Map」にご参加いただけます。右記の QR コードより本テーマに関するご意見、アイデアを提案ください。

「Sharing Map」アプリに関するお問い合わせ先

Mail: sharingisuemap@gmail.com (賀数)

